

## 本時のねらい

自分の行きたい国について、英語を使って相手にわかりやすく理由を説明することができる。

## 本時における 1人1台端末の活用方法とそのねらい

友だちに質問して、予め入力している国のカードを操作し、理由を聞いてランキングを変えながら自分の行きたい国ランキングを作ることができる。

## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

・デジタル教科書      ・Chromebook      ・Jamboard

## 本時の展開

| 学習の流れ       | 主な学習活動と内容  | ICT 活用のポイント・工夫  |
|-------------|--|---|
| 導入<br>(10分) | <p>&lt;Warm up&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアになりお互に行きたい国を訪ね合う</li> <li>・Where do you want to go?</li> <li>・I want to go ～(国名)</li> </ul> <p>形容詞：exciting, delicious, beautiful, great, fun<br/>                     国名：Australia, Belgium, Brazil, Canada, China, Egypt, France, Germany, India, Italy, Japan, Kenya, Korea, New Zealand, Russia, Singapore, Spain, Thailand, the UK, the USA</p>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル教科書を使うことで、児童が前時に使った英語のフレーズを思い出しながら発音の練習をすることができる。</li> </ul>        |
| 展開<br>(30分) | <p>&lt;めあて&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちから聞いた理由をもとに、自分の行きたい国ランキングを作ろう！</li> </ul> <p>&lt;Activity&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちに行きたい国を聞きにまわり、さらにその理由を訪ねる</li> <li>・where do you want to go?</li> <li>・I want to go ～ (国名)</li> <li>・Why?</li> <li>・I want to eat ～ (食べ物)</li> <li>・I want to see ～ (建物、動物)</li> <li>・I want to visit ～ (場所)</li> <li>・友だちの意見を参考に、最終的に自分の行きたい国ランキングを完成させる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・友だちの考えを聞くことで、あらかじめ jamboard で作っておいた行きたい国ランキングを容易に作り直すことができる。</li> </ul> |
| まとめ<br>(5分) | <p>&lt;Reflection&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一番行きたい国とそう思う理由を書き、クラスで説明する</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・jamboard で作ったランキングを全員に見せることで、視覚的にもわかりやすく、英語の表現も身に付けられる。</li> </ul>      |

## 1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：前時の自分の行きたい国を確認している



写真2：友だちの考えを聞いて、自分の行ってみたいと思う国を確認し、作り直している場面



写真3：自分が行ってみたいと思う国を紹介している場面。

## 児童生徒の反応や変容

・友だちの意見を聞き、興味のある場所や建物、食べ物を調べることで、その国について関心を持ち、友だちと交流する前よりも自分の行きたい国が変わった児童が半数ほどいた。  
 ・自分の行きたい国の理由を伝えることによって、相手の行きたい国が変わることがあることで、自分の英語が相手にうまく伝わっていることを実感していた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

・ICT を使うことで、興味を持った建物や場所、食べ物を瞬時に調べることができ、その国の特徴をすぐに捉えることができた。また、jamboard を使うことにより、他者の意見を聞いたことで自分の行きたい国のランキングをすぐに変更することができ、活発な意見交換も行われていた。